

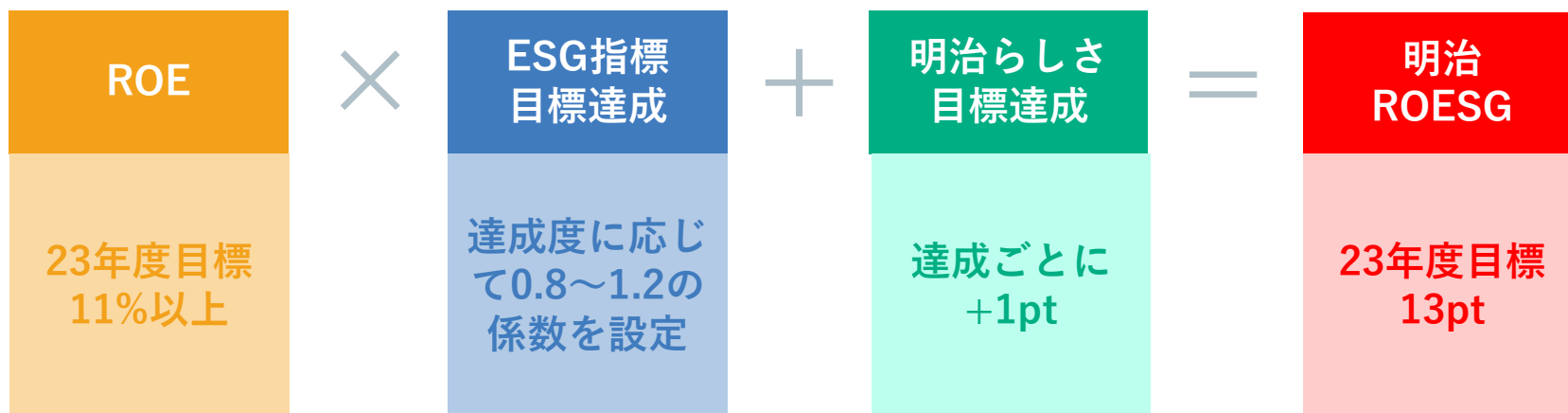
# 明治ROESG<sup>®</sup>経営の実践

ESGミーティング資料

2021年12月14日

2023中期経営計画～明治ROESG<sup>®</sup>※経営の実践

ROE向上とESG強化を矛盾させることなく、  
ともに実現する経営への転換を目指す



- ① MSCI
- ② DJSI
- ③ FTSE4Good
- ④ CDP (Climate Change)
- ⑤ CDP (Water Security)

- ① 健康寿命延伸
- ② たんぱく質摂取量
- ③ インフルエンザワクチン接種率
- ④ 従業員エンゲージメントスコア
- ⑤ 健康志向食品、栄養付加価値型商品、超高齢化社会に貢献する商品の売上伸長率
- ⑥ 新型コロナウイルスワクチン・治療薬の開発成功と供給

# 明治ROESG<sup>®</sup> : ESG指標

総合評価としてのMSCI ESG Ratings・DJSI・FTSE4Goodと、環境にフォーカスしたCDPのレーティングを組み合わせ設定

評価指標	20年度	21年度	23中計目標
MSCI ESG Ratings	BB	現時点では未公表	A
DJSI	80 <sup>th</sup> -センチル	84 <sup>th</sup> -センチル	90 <sup>th</sup> -センチル
FTSE4Good	3.0点	3.0点	3.5点
CDP (Climate Change)	A-	A-	A
CDP (Water Security)	A-	A	A

- DJSIとCDP (Water Security)で評価が上昇
  - FTSEは全体スコアは前年並みだが、評価項目ごとに傾向が分かれる
    - ・ 生物多様性、サプライチェーン：上昇
    - ・ 人権とコミュニティ：下降
- 環境課題への取り組みの重要性が高まる中で当社の取り組みも前進してきことが、全体的に環境系の評価向上につながっている

# 明治ROESG<sup>®</sup>：明治らしさ目標

2023中計で注力する領域と重なる社会課題と、企業活動を支える「人」の観点で6つを選択

項目	目標
健康寿命延伸	+ 1年（16年比）※1
たんぱく質摂取量	75g/1日
インフルエンザワクチン接種率	接種率 60%
従業員エンゲージメントスコア	偏差値A ※2
健康志向食品、栄養付加価値型商品、超高齢化社会に貢献する商品の売上伸長率	+10%以上（20年度比）
新型コロナウイルスワクチン・治療薬の開発成功と供給	開発と供給

- 事業においてもESGにおいても、その原動力は「人」のパワー
- 利益成長とサステナビリティの同時実現を可能にする組織・風土の醸成も念頭に、社内の意識改革の取り組みを推進中

# 本日のアジェンダ

1. 環境への取り組み
2. 社内の意識改革
3. ガバナンスのさらなる強化

# 1. 環境への取り組み

# 環境への取り組み～長期環境ビジョン～

## 明治グループ長期環境ビジョン Meiji Green Engagement For 2050

地球環境が危機的な状況にある中で、明治グループが**地球とのエンゲージメント**を通じて将来にわたって**自然との共生**を図ることで、**持続可能な地球環境の実現**に貢献する。



### 気候変動

サプライチェーン全体で温室効果ガス排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」の実現



### 水資源

原単位での水使用量を半減  
製品原料に使用する水を100%還元(ウォーターニュートラル)



### 資源循環

廃棄物の実現ゼロエミッション  
使用する新たな自然資本の最小化



### 汚染防止

事業活動由来の化学物質による  
環境汚染ゼロを目指す

# 環境への取り組み～2021年度の進捗～

## ✓ 日本気候リーダーズ・パートナーシップ (JCLP)に加盟 (7月)

持続的な脱炭素社会の実現を目指す企業グループ「JCLP」に加盟

## ✓ RE100 に加盟 (9月)

使用電力を100%再生可能エネルギー由来の電力で賄うことを目指すグローバルイニシアチブ「RE100」に加盟

## ✓ インターナルカーボンプライシング制度を導入 (10月)

CO2排出量の増減を伴う備投資などを対象に、5,000円/t-CO2の社内炭素価格を設定

## ✓ SBT (Science Based Targets) 認定を取得 (10月)

温室効果ガス削減目標に関し、SBTイニシアチブより認定を取得

## ✓ 水素バリューチェーン推進協議会 (JH2A) に参画 (12月)

水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーンの形成を推進する団体「JH2A」に参画



# Dairy Net Zero実現に向けた取り組み

「乳」の価値最大化に取り組むトップメーカーとして、酪農乳業界の抱える社会課題解決への取り組みを積極的に支援

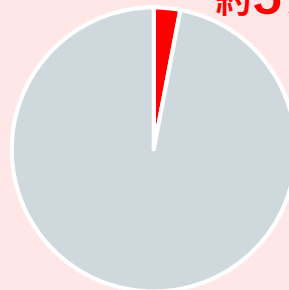
## 酪農乳業界の抱える課題



牛のゲップ由来のメタンなど酪農乳業による  
温室効果ガス（GHG）総排出量の割合

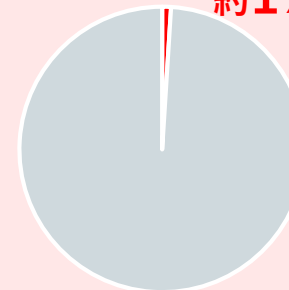
世界

約3%



日本

約1%



## 世界における酪農乳業界の貢献

- 酪農乳業に携わる人：約10億人
- 乳製品を定期的に消費する人：約60億人

(出所) ・「気候変動と世界の乳牛セクター」

国連食糧農業機関（FAO）およびグローバル・デーリー・プラットフォーム（GDP），2019年発行

・Jミルク酪農乳業 SDGs 推進ワーキングチーム（2020年11月）、農研機構資料

# 酪農乳業セクターのGHG排出量削減に向けた選択肢

## 1. 飼料・給餌管理

- 飼料のエネルギーとタンパク質含有量を最適化することで飼料効率を高める
- 草地管理を改善することで土壌に貯蔵する炭素を増やす

## 2. 排泄物の管理

排泄物をバイオガスシステム処理することで、GHG排出量を削減し、肥料の質を改善し、化石エネルギー源の代用とすることができる

## 3. 肥料管理（排泄物と化学肥料）

- 排泄物の施用と土壌中への取り込みを減らすことで、農場の生産性を維持しながら排出量を削減できる
- カーボンフットプリントの少ない環境に配慮した方法で製造された化学肥料を使用する

## 4. 農場におけるエネルギー使用

化石燃料エネルギーの使用を減らし、風力エネルギーやバイオ燃料など持続可能なエネルギーの使用を増やす

## 5. 家畜の健康

- 家畜の繁殖を改善し、管理頭数を最適化することで、酪農の収益性を高める
- 家畜を健康に保つことにより、生産性が上がり、病害や寄生虫の蔓延を減らせる

(出所) 「気候変動と世界の乳牛セクター」

国連食糧農業機関 (FAO) およびグローバル・デリー・プラットフォーム (GDP), 2019年発行

# Dairy Net Zero実現に向けたMeijiの取り組み

独自の支援活動（MDA: Meiji Dairy Advisory）を通じた酪農家とのリレーションシップを活かし、持続可能な生乳生産の実現に貢献

## 《牛消化管メタン発生量抑制の方法》

1. 1頭当たりの乳生産量を向上させる
2. メタン発生量の少ない飼料を給与する
  - 給与飼料中の脂肪含量を高める
  - 脂肪酸カルシウムの添加
3. 第一胃内の微生物そのものを制御する
  - メタンの材料となる水素やギ酸の低減
  - プロピオン酸型発酵の促進
  - 微生物相改変資材の添加
4. メタン発生量の少ない乳牛の育種

## MDAによる酪農家訪問回数

2020年度まで 累計**948**回



(目標)

2023年度までに 累計**2,150**回以上



MDA実施例：

乳牛の体調や採食行動をチェックする等、現場立会を通じた「改善活動」

## 2. 社内の意識改革

# サステナビリティの自分ゴト化

「meijiブランド推進リーダー」を設置し、  
サステナビリティと事業運営の一体化を促進する取り組みを推進

meijiブランドプロジェクト

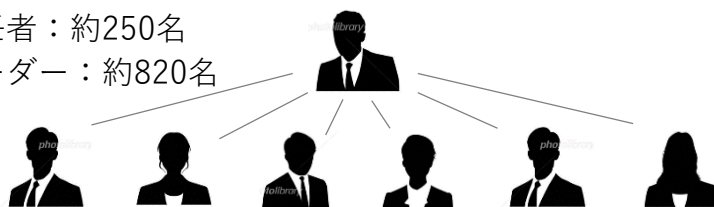
meijiブランド推進リーダー運営事務局

事務局長：  
HD経営企画部長、HDサステナ推進部長  
事務局メンバー：  
各社の経企部、人事部、サステナ部

ブランド推進責任者（部長・事業所長）

ブランド推進リーダー  
（ライン長：G長、課長）

責任者：約250名  
リーダー：約820名



《リーダーが担う具体的な役割》

## 1. “健康にアイデアを”の体現

- 定期的な職場ミーティングを主催
- 職場の従業員一人一人の自分ゴト化から職場ゴト化を推進
- 職場ごとに“健康にアイデアを”提案の実行を促進

## 2. サステナビリティの理解促進

- サステナビリティ部門から日々発信される情報を職場へ周知
- 事業活動を通して社会課題解決に貢献する意識を醸成

## meijiブランド推進リーダーによる活動推進

meijiブランド推進リーダーは「リーダーフォーラムへの参加」「職場ミーティングの主催」「サステナビリティの理解浸透促進」「サステナビリティ通信の職場展開」を推進

## 2021年度実施状況

2022年度

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月

リーダー  
フォーラム

第1回  
フォーラム

第2回  
フォーラム

オンライン講座参加者  
延べ1,743名  
(各回平均：436名)

職場  
ミーティング

第1回  
ブランドPJ  
理解

第2回  
どんなmeijiに  
なりたいか？

第3回  
健康とは何か？

第4回  
自職場でできる  
健康とは？

第5回  
職場  
ミーティング

第6回  
職場  
ミーティング

サステナビリティ  
の理解促進

第1回  
なぜ今、  
サステナビリティか  
オンライン解説

第2回  
明治の目指す  
方向性  
オンライン解説

第3回  
マテリアリティ  
とKPI  
オンライン解説

第4回  
統合報告書を  
読む  
オンライン解説

第5回  
テーマ配信  
オンライン解説

第6回  
テーマ配信  
オンライン解説

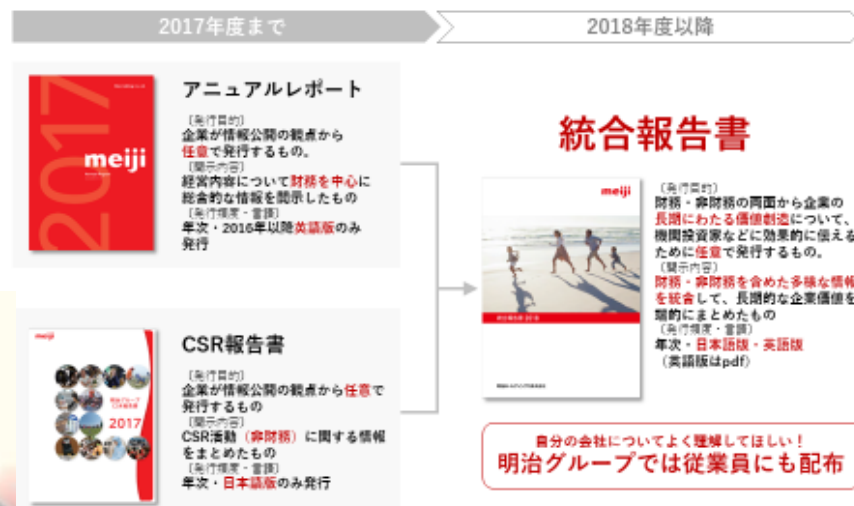
サステナビリティ  
通信

サステナビリティの各種取り組みやイベントに関する情報を適時配信（月1回ペース）

# meijiブランド推進リーダーによる活動推進



## 明治グループの統合報告書



### 【統合目標】 明治ROESG®指標

(23中計コンセプト)

#### 2026ビジョンの実行ステージ

明治グループは創業から続く「健康価値の提供」を再認識し、世界の人々や社会と健康をシェアするサステナブルな企業グループとして成長の実現に向けた取り組みを実行する。

#### 利益成長とサステナビリティ活動の同時実現

【統合目標】

- ✓ ROEとESGを統合した目標としてROESGに代表される指標を策定する

【考え方】

- ✓ 伊藤邦雄教授が提唱するROESGを参考に
- ✓ 明治ならではの取組を指標に反映する



© Meiji Holdings Co., Ltd. All rights reserved.

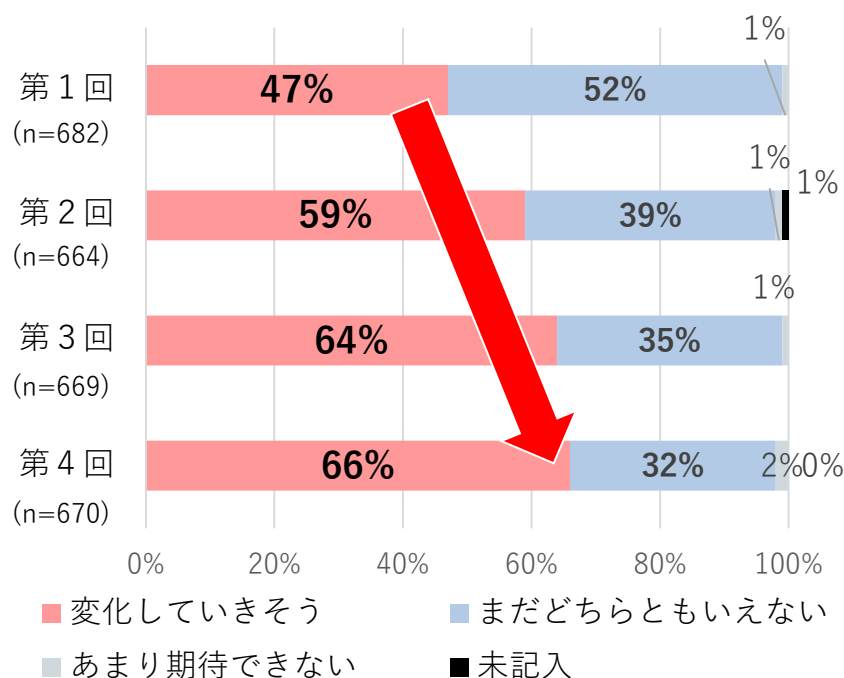
社外秘

# サステナビリティの自分ゴト化

従業員サステナビリティ意識調査により、明治グループのサステナビリティ活動を通じて、働くことに誇りに感じる人は全体として増加

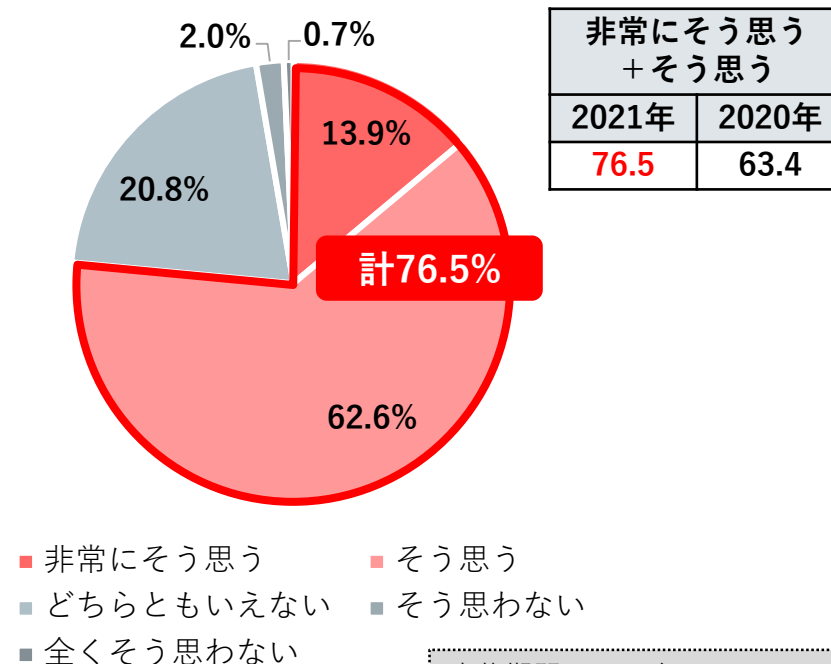
## 職場ミーティングの事後アンケート

Q. 職場メンバーの意識・行動が変化しそうか？



## 第2回サステナビリティ意識調査

Q. サステナビリティ活動に取り組んでいる明治グループで働くことに誇りを感じるか？



非常にそう思う + そう思う	
2021年	2020年
76.5	63.4

実施期間：2021年5月6日～21日  
回答者数(n)：9,108名



## 3. ガバナンスのさらなる強化

# コーポレートガバナンス方針の改正

改訂された「コーポレートガバナンス・コード」と「対話ガイドライン」を踏まえた内容に見直し、ホームページに掲載

主な改正内容

## 1. サステナビリティの章を新設

- 基本的な考え方を明記し、「D&Iの推進」や「ESGとTCFD開示」といった重要性が高まるテーマについても方針を策定

## 2. 取締役会のさらなる実効性向上に向けた内容に見直し

- 取締役会の構成では、国籍・ジェンダー・年齢などの多様性を考慮することを明記
- 実効性評価として、従来の調査票による自己評価（毎年実施）に加え、3年に1回程度、第三者による取締役会評価を実施する方針に変更

## 3. 指名委員会・報酬委員会の委員長には独立社外取締役を選定

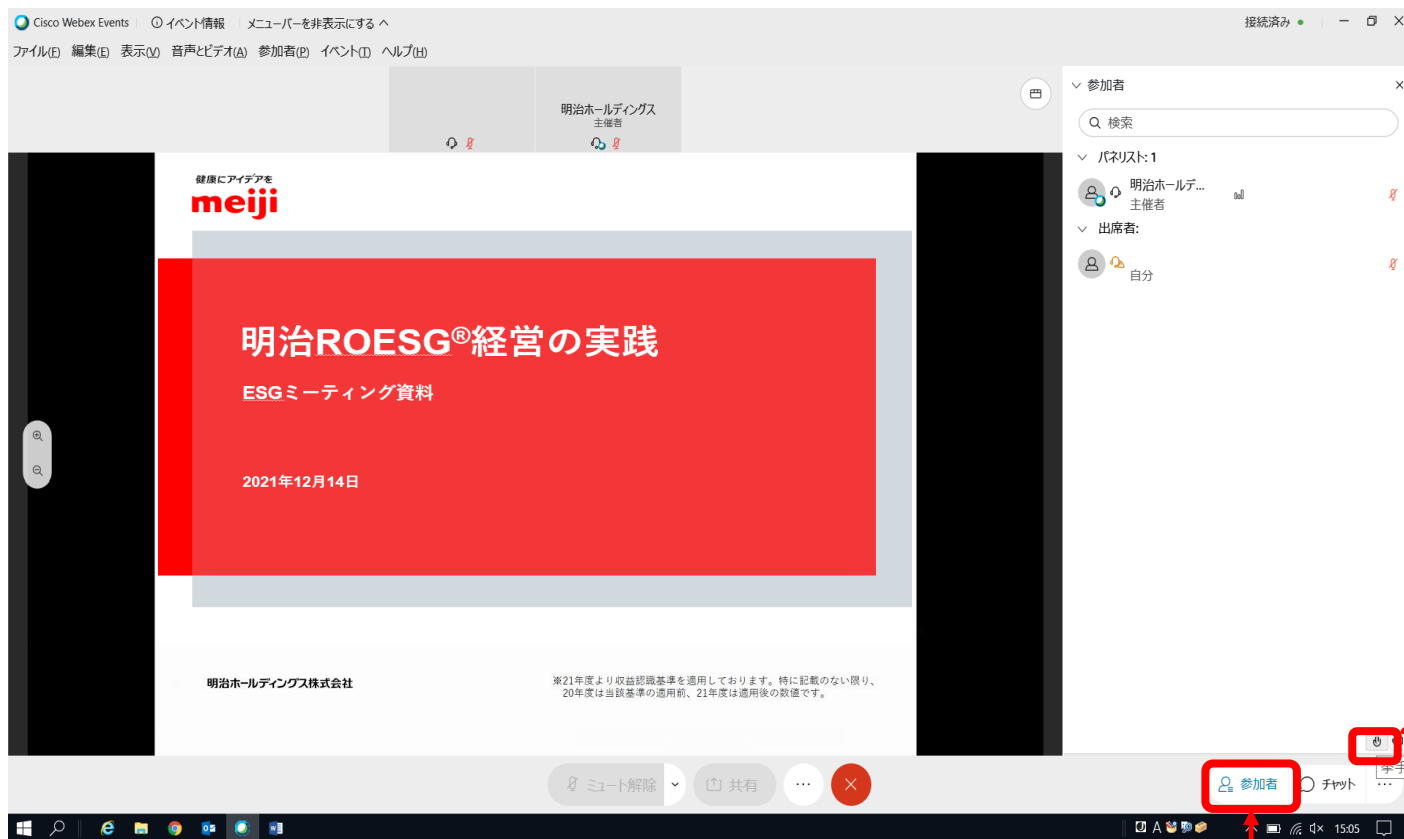
- 指名委員会・報酬委員会の委員長は、独立社外取締役である委員の中からの互選により、指名委員会の委員長と兼任しないよう選定

→引き続き、社会からの要請・期待の変化に応じて、  
適宜ガバナンス方針は見直す

# 健康にアイデアを meiji


- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

# ご質問方法（挙手）



質問方法

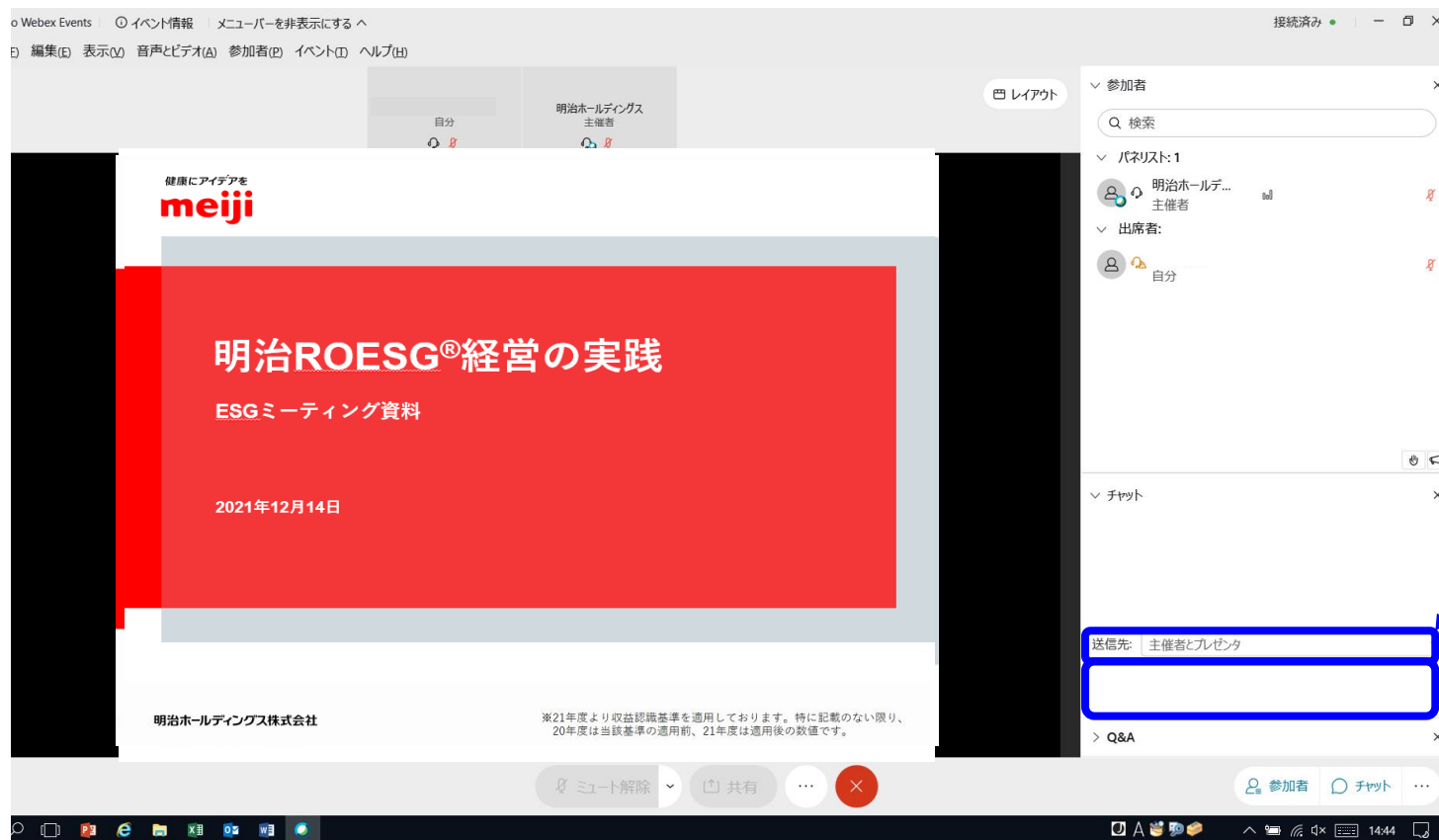
- ①ご質問がある方は  
挙手ボタンを  
押してください



- ②ご質問への回答が  
終わりましたらOFFにして  
ください

※参加者ウィンドウが開かれておらず、挙手ボタンが見当たらない場合は、  
右下の「参加者」ボタンをクリックしてください

# ご質問方法（チャット）



**質問方法  
(チャット)**

- ①送信先に「主催者とプレゼンタ」を選択
- ②こちらにご質問を入力いただき、「Enter」ボタンを押してください

ESGラージミーティング第二部は16時開始予定です。

開始まで、いましばらくお待ちください。

**健康にアイデアを**

**meiji**